

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社

FUTABA フタバ食品

栃木トヨタ自動車

トヨタ カローラ栃木

新豊建設株式会社

KSK環境整備

創業明治十五年  
宮島醤油株式会社

明光義塾!

積水ハウス株式会社

pal\*system  
生協パルシステム茨城 栃木

co-op とちぎコープ 生活協同組合

NTT docomo  
株式会社ドコモCS

一般社団法人  
栃木県医師会

獨協医科大学病院  
Dokkyo Medical University Hospital

人形会館 鈴為  
<http://www.suzume.com>

まなびの森 保育園

あづま保育園

駅ひがし保育園

あさひの保育園

ひので保育園

学校法人やまざき学園 認定こども園 釜井台幼稚園、  
認定こども園 西那須野幼稚園、みふみ認定こども園、  
学校法人大恵会 うつのみやこども園石川幼稚園・  
認定うつのみやこども園東うつのみや保育園、  
学校法人むつみ学園 認定こども園 むつみこども園、  
学校法人愛泉学園 吉田保育園／西那須野ロータリークラブ（順不同）

いのちにハグを。サポーター

カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 教授 大竹智、  
子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、  
栃木フォスターングセンター 代表理事 畠山憲夫、歌う海賊団、  
NPO法人レインボー 代表理事 宮田里枝、  
(一社)栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作、  
とちぎ男女共同さんかくねっと 理事長 大澤里香（順不同・敬称略）

企画監修  
栃木県

TOCHIGI POLICE  
栃木県警察



自治医科大学  
とちぎ子ども医療センター  
子どもの心の診療科  
病院助教  
倉田 和美さん

富山医科薬科大学卒業。2017年より自治医科大学附属病院とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科病院助教。  
日本小児科学会、日本精神神経学会、日本児童青年精神医学学会、日本乳幼児精神保健学会、日本ウィニコット協会、日本精神分析学会所属。

子育て世代が直面する最大の難関が乳幼児の「イヤイヤ期」と思春期の「反抗期」。何に対しても「イヤ」を連発し、イラ立ちを露わに、怒りをぶつけてくる姿に困惑した方も多いことでしょう。実はそのどちらもが子どもにとって「より広い世界へ自立しよう」と一步を踏み出で期待と、大きな不安に揺れ動く心の葛藤の現れです。

児童心理学者のマーガレット・マーラー

トマーラーが分離固体化理論の中で、乳幼児の心の発達についてわかりやすく説明しています。生まれたばかりの赤ちゃんは、カラダは母親と分かれています。生まれたばかりの赤ちゃんは、カラダは母親と分かれています。

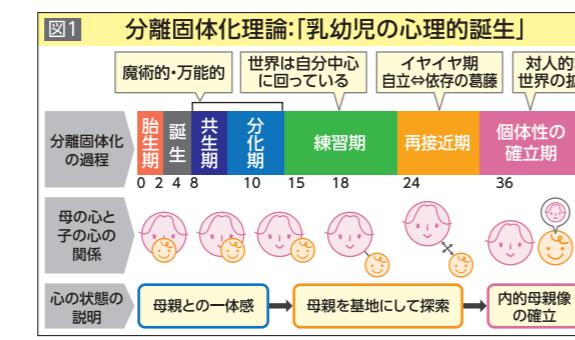
励ましの一言が心の支えに

思春期になると、もう一度似たことが繰り返されます（「第二の分離固体化期」）。ココロもカラダも成長し、知識も蓄えます。

子どものイヤイヤ期にどう対応するか

子どもが自分で自分を確立する最も大切な時期が「再接近期II（イヤイヤ期）」。自分でやってみたい（自己）、甘えた（依存）の葛藤が「イヤイヤ」となり爆発する時期です。子どもの感情の爆発は「離れないけど離れて、「自分でやりたい」が達成できないように、できるだけ少ない助力の方法を探してあげてください。ポイントは、そつと後押ししてあげることです。過保護な対応は子どもの自立しようとするとする試みを阻んでしまいます。

性的にも成熟しつつあるこの時期、色々なことが現実の世界となる中で、一人の人間として自立していくことを試みる「反抗の相手」をすることがあります。子どもは心の底では親が反抗の対象になるケースが多いです。しかし、このやりとりを乗り越えて子ども達は皮肉で自立に向かいます。周囲から「頑張っているね」との言葉が対峙する親の「心の支え」となり、親側の肩の力を抜くきっかけになると、不思議と子どもにも伝わり、子どもが前に進む大好きです。だから、親の安心感は子どもに伝わるからです。子どもたちが幸せに自立していくために、身近な人や地域の支えや見守りも大事な役割を担っていると思います。



「児童虐待かも…」と思ったら、すぐにお電話ください

無料 ※一部のIP電話からはつながりません

いのち  
はや  
く  
189  
児童虐待  
対応  
ダイヤル

子どもへの虐待のない社会を目指して

下野新聞

子ども虐待防止啓発キャンペーン

虐待ゼロへ  
いのちに  
ハグを。  
とちぎ

section 21

企画・制作 下野新聞社営業局  
企画監修 栃木県  
栃木県警察本部

子育て世代が最初に直面する難関「イヤイヤ期」。「乳幼児期の心理的誕生」と解説するマーガレット・マーラーの発達理論を参考に、「乳幼児期の子どもの心の発達と親子関係」について自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科の倉田和美先生にお話を伺いました。